

## (6) 北方中央

北方中央少年野球部員全41名の内、ジュニアリーグに参加しているのは18名程度です。ジュニアリーグは、レギュラーチームの試合に出られない子供達が出場できる貴重なリーグです。また、試合自体も勝ち負けにこだわることなく、敵味方に分かれてはいるものの、ファインプレーやナイスバッティングには両チーム皆で拍手を送るといった温かい雰囲気もリーグの特徴だと思っています。

そんな環境の中で、子供達は、監督・コーチ・保護者の方々に見守られながら、野球を通して、肉体的にも精神的にも、のびのびと元気に成長しています。どの子供も打席では、主役になれます。ヒットを打ったり、守備でアウトを取ったときは、目を輝かせて嬉しさを表現しています。

ジュニアリーグは、野球場と言う貴重な場所を提供してくれていることはもちろんですが、スタッフをはじめ多くの大人達とのふれあいなどで、子供達に学校以外の教育の場を提供してくれているものと思い、とても感謝しています。

## 子供達の保護者の声

SK 君—仲間とがんばる気持ちが出てきて、協調性ができた。一生懸命がんばる気持ちが出てきた。

JK 君—野球が大好きになり、試合でアウトが取れたことがとてもうれしそうです。

TF 君—礼儀、上下関係、監督、コーチとの関係のなかでもまれながら、がんばっている姿を見るととても成長していると思います。

MI 君—始めは、ぎこちなかった動きも、練習も休まず、一人で朝練したり、今でもがんばっています。

HF さん—たった一人の女子部員、男子の中で、心も体も強く成長しています。

TK 君—集団行動の中で、とても礼儀が身に着いたと思います、これからも続けてほしい。

TH 君—家の中で過ごすことの多かった子が、野外での活動時間が格段に増え、友達が多くできるようになりました。子供の健康のためにも喜んでいきます。

KF 君—小さい体で、とてもがんばっています。大人に対する礼儀も少しずつですが身に付き始めました。

SO 君—物事に対して積極性が出てきました。道具を大切にするようになり、グローブも自分で修理しています。

YT 君—学校生活と違う規律の中で成長しています。帰宅後、楽しそうに野球の話をしています。

代表より—低学年の子は、野球の楽しさや礼儀を覚え始め、中学年になると、自分自身でがんばることを自覚する姿が見えてきて、とても頼もしく思えました。